

若神組十三日講だより

若神組十三日講
講長 藤井 成正

こんにちは！令和6年は、昭和元年(1926)から数えておよそ100年…。みなさま、この令和の新時代…。自然も社会もこの変わり方、それぞれのおもいで振り返っていかがですか…。
それでは、前号以降の「抜粋スポット版」のご紹介です。

活動のご報告

○3月講 3月13日 於:光圓寺



物故者追悼法要 7名

○5月講 5月21日



光乗寺(文明2年創建、市野瀬から現在地へ)

○6月講 6月13日



—西照寺 本堂(奥)と鐘楼(手前)—

西照寺(明和2年創建)

○講の活動(3月～9月)

3月13日	(水)	3月講・物故者追悼法要	光圓寺
		十三日講だより(第13号)発行	
25日～26日	(月)(火)	全国講社連絡会結成50周年記念大会	本願寺
5月21日	(火)	全国講社連絡会・総会	本願寺
21日		5月講(降誕会)	光乗寺
6月7日	(金)	高岡教区講社連盟総会・研修会	高岡会館
10日	(月)	綽如上人御忌法要・参与会総会	井波別院
6月13日	(木)	6月講	西照寺
7月19日	(金)	永代経法要参拝	高岡会館
7月24日	(水)	特別永代経法要団体参拝	井波別院
8月7日	(水)	全戦没者を悼み平和を願うつどい2024	高岡会館
9月4～5日	(水)(木)	全国講社北陸ブロック講員研修会	富山教区
9月12日	(木)	第5回講員研修会	金沢方面
9月13日	(金)	十三日講だより(第14号)発行	

1. 物故者追悼法要
2. 表彰状・感謝状授与
(中野地区: 4名)
3. 総会
4. 研修会
5. 閉会式

本願寺高岡会館
永代経法要
7月19日(金)午前10時 午後1時半
※お席は前定数(日)の10%程度追加です
日中立川 証師 福島 敬信 師
遠夜 青木 哲隆 師 村上 昂文 師
※お席は前定数(日)の10%程度追加です。お席は前定数にてお申し込みください。
会費

※ 2024(令和6)年度 北陸ブロック講員研修会

期 日 2024(令和6)年9月4日(水)～5日(木)
会 場 [研修会] 本願寺富山別院(富山市総曲輪 2-7-12)
[懇親会・宿泊] ANA クラウンプラザホテル富山
内 容 (1) 講 演「私の歩む道とは」
講師 平尾明英師
(本願寺派布教師/富山教区 立山組 満法寺住職)
(2) 研 修(協議会)
テーマ「相続と復興」

○北陸ブロック
富山教区
高岡教区
石川教区
福井教区

※十三日講
参加者
講長および
(秋元・下中条)各1名

.....
 ところで、この自力無効の思想は、現代社会の一般的な風潮と鋭く対峙する側面を持っていると感じます。

人間業である科学技術の力を借りれば、あらゆる問題が解決できるという暗黙の了解が世に広まっているのではないのでしょうか。

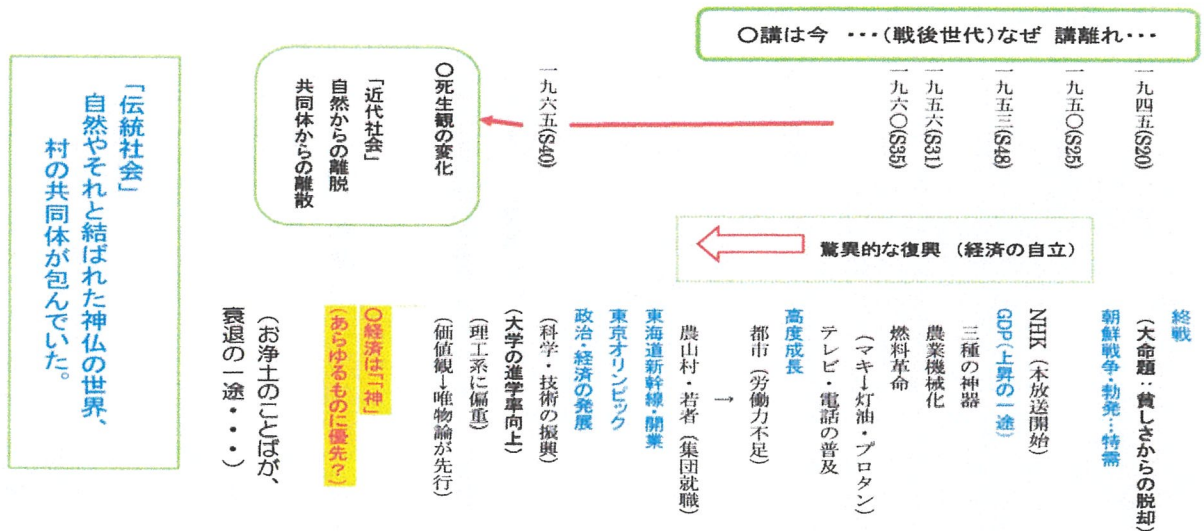
生活の快適さや使利さを追求し、知的好奇心を満足させようとする科学技術の進展はとどまるどころを知りません。しかし、生命操作と倫理の問題や、エネルギーと環境保全の問題など、私たち現代人のかかえる苦悩の間はますます深まっているのです。これらの問題も、いつか人間の力ですべて解決できるときが来るのでしょうか。

ここに至って、改めて聖人が「一切の群生海、無始よりこのかた乃至今日今時に至るまで、穢悪汚染…虚仮諂偽^{てんぎ}にして……」（『信文類』）あるいは「凡夫といふは、無明煩惱われらが身にみちみちて、欲もおほく…終の一念にいたるまで、とどまらず……

（『一年多念文意』）と書かれた言葉に聞き直してみたいと思います。

煩惱というのは、人間が自力に頼ってかえって混迷の度を増し、迷いから抜け出せない姿を指して言われる言葉ではないのでしょうか。だからこそ、現代に生きる私たちにとって、浄土往生を願うことの意味が一層重要になっているのだと思います。

遇斯光 同朋便り第68号 （立山町 善入寺住職）



「里の思想」内山氏メッセージから
 20世紀のパーティは終わったのです。でも21世紀の前半は、ここ数世紀の人類史でもっとも意味のある歩みとなるかもしれません。内山節流に言えば、等身大の世界を取り戻して、歴史を受け継ぐ心の準備をする期間なのです。